

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

コロナワクチン接種の状況について

8月にはオリンピック後の感染者数が爆発的に増えると予測されており、7月末時点の沖縄県内での新型コロナウイルス新規感染者数が1日300人を超え、今までにない感染爆発の危機を感じております。この感染流行を抑えるために、「人流の抑制」が叫ばれておりますが、沖縄県は観光立県なので、難しいかじ取りが求められております。唯一とされる予防策が「ワクチン接種」です。

当院でも国のワクチン政策と歩調を合わせる形で段階的にワクチン接種を進めてきました。まず、3月中旬に当院院長の接種を皮切りに職員へ、4月には周辺医療機関の医療従事者へと、当院職員と並行する形で開始しました。その後6月には65歳以上への接種、7月から65歳以下への接種へと切れ目なくワクチン接種を実施してきました。とは言え、仮設にワクチンブースを設置せざるを得ない建物の構造的な問題や、増員できていないスタッフでのやりくり等で、大多数の接種ができていない現状があります。現在実施している数は月2000件余りで推移しておりますが、可能な限り地域住民・組合員へのワクチン接種が行えるようスタッフ一同努力してまいります。地域の集団接種や広域ワクチン接種センターで接種を受けることが可能ですが、持病や副作用が心配で病院での接種を希望される方はワクチン専用の電話窓口を設けておりますのでご利用ください。ワクチンの普及でいつの日かコロナウイルスが風邪扱いになることを期待しましょう。

沖縄協同病院 副総看護師長 玉城 誠



外科外来体制表

○2021年8月1日から外来体制が変更になります。

	月	火	水	木	金	土
午前	比嘉 聰 有銘一朗	小野 武 加藤航司	永田 仁	加藤航司	小野 武 比嘉 聰	休診
午後	屋良敏男	有銘一朗	屋良敏男	有銘一朗	屋良敏男	

《診療開始時間・受付終了時間》 午前：9:00～12:00 午後：2:00～4:00
※診察順番は予約患者様が優先となります。

整形外科外来体制表

○2021年7月20日から外来体制が変更になります。

	月	火	水	木	金
一診	上原 健	予 上原昌義	予 上原昌義	上原 健	上原 健
午前	金城 仁	予 津田智弘	予 津田智弘	金城 仁	若林 創
三診		伊志嶺洋平		伊志嶺洋平	

診察開始時間：9:00～ 受付終了時間：10:00

コロナワクチン
予約外来・当日のご案内

コロナワクチン予約外来は、「密」を避けるため受付への案内は予約時間10分～15分前としています。早めに来院されても外来への案内はおこなっておりませんのでご了承ください。

※予約時間より早めに来院された方については、感染対策として、病院外での待機または自家用車での車内待機をお願いしております。
ご不便をおかけしますがご理解ご協力よろしくお願いします。
何かありましたら、受付職員または、お近くのスタッフまでお問い合わせください。

病院の活動状況 <2021年6月度>

- ・外来一日平均患者数：288人（前年同月比 -13人）
- ・入院一日平均患者数：262人（前年同月比 -17人）
- ・組合員利用分量（率）：49.1%（前年同月比 -11.1%）

エプロンかけて 気持ちキリっと -協同にじクリニック歯科 朝のミーティング風景-



画・内科医 上原 和博

虹の箱より

<おしらせ>

組合員からの要望により多目的トイレ(車イスの方用)に荷物置台を設置しましたのでどうぞ、ご利用下さい。

総合案内 大田 明子



ハルサー だより⑫

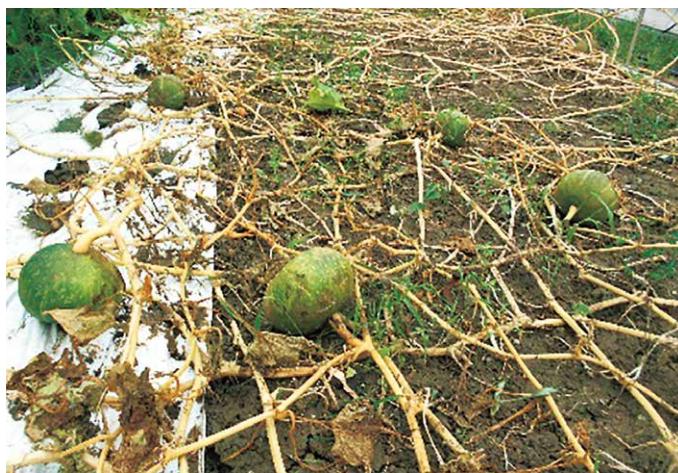
台風

方向が定まらず、直前まで国民を翻弄した東京五輪の火は、どうやら沖縄に接近した台風六号にもバトンタッチしたようだ。その迷走台風のせいで私は今、畑に出られず四日間家に閉じ込められている。庭のサガリバナの木が激しい風雨で大きく揺れています。それを見ていると遠い昔の台風の様子が蘇ってくる。

現在の家は鉄筋コンクリート造なので台風対策は雨戸を閉めるだけだが、幼い頃はカーラヤーだった。台風になると、父は全部の戸に板を打ち付け、母は定番のソーミンチャンプルーとメリケン粉（アメリカの小麦粉が訛つたもの）でヒラヤーチーを作った。ガタガタする戸の音におびえながら、家族みんなで揺れるるうそくを囲んで食事をしたものだ。♪どにでもあるような私

の人生♪の一コマだ。

さて、東京五輪は緊急事態宣言下で、医療・観光・飲食関係者など多くの国民が五輪どころではない中で幕を開けた。大会関係者の相次ぐ不祥事や「中止は選択肢にない」と言っていたIOC会長の「東京五輪に疑惑を持っていた」との手のひら返し発言、首相に至っては周囲の開催中止の助言に「止めること」は一番簡単なこと」と答え、記者に五輪判断を問われたら「私は主催者ではない」と無責任発言のオンパレード。情けない限りである。



ハルサーにとって台風は大きな損失をもたらすが、干ばつの時に恵みの雨を連れてきたり、大発生した虫を吹き飛ばしてくれるいい面もあるが、五輪開催直前のオリンピック級の醜聞の嵐は日本に損失をもたらしただけである。何はともあれ、始まつたからには主人公の選手たちが最後まで完走できるよう見守りたい。

ハルサー 金城 稲子